

## 被服学科

### 教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

#### 【教育課程・教育方法】

被服学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を段階的に習得させるために、以下のカリキュラム・ポリシーに則り、講義科目、実験・実習科目、演習・総合演習科目および卒業論文を置き、基礎科目から専門科目へと段階的に学べるカリキュラム構成とする。また、科目履修方法の指針となるコース制（ファッションサイエンスコース、ファッションアートコース、ファッションデザインコース）を設ける。さらに、資格の取得に必要な専門科目を置く。なお、学科科目と学科ディプロマ・ポリシーとの対応は、カリキュラム・ツリーとして提示する。

#### 講義科目

被服学の幅広い専門領域を総合的に理解するために、自然科学・人文科学・社会科学の領域から構成される講義科目を置く。産業界の知識も学修できるように企業人を講師とした科目も含める。

#### 実験・実習科目

講義科目の理解をより深め、被服に関する専門知識を実践的に学び応用できるように、実験、実習科目を置く。

#### 演習・総合演習科目

より専門的な分野の手法や知見を学び、他者ともコミュニケーションを取りながら課題を明確化する能力を養成するため、3～4年次に演習科目を置く。

#### 卒業論文

大学での学修の集大成として4年次に卒業論文を置く。自ら課題を見つけ、探究し、学術論文としてまとめあげるとともに、その成果を第三者に発表する。

#### 資格科目

衣料管理士（一級）資格取得のための専門科目を置く。繊維・ファッション業界必携の繊維製品品質管理士（TES）資格取得を支援する課外講座を置く。また、中学校・高等学校教諭一種免許状（家庭）、司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員の資格取得に必要な科目

を置く。

**【学修成果達成のための科目】**

- DP1 学科共通分野、材料分野、造形分野、衣環境分野、整理・染色分野、美学分野、消費分野の中の講義系基礎科目、講義系専門科目
- DP2 学科共通分野、材料分野、造形分野、衣環境分野、整理・染色分野の中の実験・実習系科目
- DP3 衣服文化演習 I & II、被服科学演習、被服学総合演習、卒業論文
- DP4 衣料管理士（一級）資格取得に関連する専門科目  
中学校・高等学校教諭一種免許状（家庭）等の資格取得に必要な科目